

交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
 ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
 ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。



本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)

留学先大学:	ウィーン経営経済大学
留学先での所属学部・研究科:	Bachelor
留学先での在籍身分:	交換留学生
留学期間:	2022/9/14 - 2023/6/14
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3回生
帰国日:	2023/6/15
本報告書記入日:	2023/7/18

1. 留学先大学について

1-1	受入許可書(Acceptance Letter)を貰えた日	5月 4日
	参加必須のオリエンテーション日	9月 14日
	学期:	① 10月 1日～ 1月 31日
		② 3月 1日～ 6月 30日
③ 月 日～ 月 日		
④ 月 日～ 月 日		
1-2	留学先入学の特長、人気のある分野等について記入してください。	
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	ドイツ語や様々な言語の有料講義を提供していた。Tandem言語交換プログラムがあった
	勉学面でのサポート:	授業に加え特別講義などが開催されていた
	精神面でのサポート:	留学生専用のofficeがあり相談に乗ってくれる
	住居・生活面でのサポート:	特になし
	課外活動のサポート:	ebnという学生団体が様々なアクティビティを開催していた

2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含ま自由記入してください。(気を付けること等)	Molkereistrasseのキッチンとトイレをシェアする4人部屋を申請したところ、申請がぎりぎりだったので2人部屋しか空きがなかった。住居は申込開始と同時に申し込むのがよい。Molkereistrasseは大学から最も近く、WU生が最も多く最寄り駅も3つありスーパーも徒歩1分にあり、すごく良い環境だったのでおすすめ。
-----	-------------------------------------	---

3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	寮の備え付けWiFi、速度は遅い
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	学内WiFiにアクセスできる
3-2	医療について	
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	病院に行くことはなかった。滞在中はオーストリアの医療保険への加入が強制で、月80ユーロほどだった。
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	ビザのために現地で口座を開設し、申請時に指定額以上残高を保有しておく必要がある。口座開設は住民票とパスポートで30分ほどで作れる。

4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	
	支給額(円/月):	
	その他(渡航費等の支給):	
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	200,000 円
	住居費:	(月額) 75,000 円 × (留学月数) 9ヵ月 = 675,000 円
	食費:	(月額) 30,000 円 × (留学月数) 9ヵ月 = 270,000 円
	保険料:	150,000 円
	その他:	円
	合計(留学期間全体の費用):	1,500,000 円

5. 異文化体験について

5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	娯楽がクラブとお酒しかない。週末や休日の夜は寮が騒がしく、みんなこぞって部屋で飲んだ後にクラブに行く。また、お酒への愛着がすごく、ebnという学生団体がキャンパス内でウオッカやワインを売りみんなでスタンディングパーティーするイベントが定期的に行われる。放課後にキャンパスで飲むという感覚が日本とは違うと思った。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	バイト先のオーストリア人スタッフと話すことはあったが、遊びに行ったりする仲の友達はみな留学生だった。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	日本食レストランでアルバイトをしていた
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	世界の住みやすい街ランキング1位に選ばれていることもあり、穏やかさと利便さがちょうどよく治安もいい町で、とても快適に過ごせた。地理的にも隣接する国が多く交通網も完璧なので、旅行がしたかった私にはとてもいい環境であった。一方不親切な街ランキング1位でもあって、確かに店員の態度はとても無愛想であったが、差別などは経験しなかった。また、困っていればみんな親切に助けてくれた。

6. 就職活動について

6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	4月のロンドンキャリアフォーラムに参加し、現地での面接に加えそのための事前選考やエントリーシート添削などをしていった。また、それ以降はベンチャー企業のサマーインターン選考などに応募し面接の経験を積んでいた。6月の東京キャリアフォーラムのためにエントリーや選考をしていた。
-----	--	---

7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	WUに留学していた人のブログ、地球の歩き方(本) オーストリアはマイナー国なのでサイトが少ないがドイツと店や文化が共通していることがあるのでドイツについてのサイトが役に立つことがあった
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	百貨店で手に入る系の便利グッズ(レンジでご飯炊くやつとパスタゆでるやつが一番重宝した)、海外電圧対応の延長コード、スキンケア(あっちには化粧水がない)、参考書 逆に服・日本食・調味料は現地で手に入るので優先順位は低めでもいいと思う
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	語学力については、英語を使ってコミュニケーションするためのコツをつかみ自信がついた。1か月目でルームメイトに英語うまくなったねといわれたり、留学4か月目で帰国してしまった友達と留学終了後に再開した際には、英語が上達したねと褒めてもらったので、自分では気づかないうちに上達していると感じた。日本でも英会話や異文化交流をすることは可能だが、現地で住んでみなければわからない文化や体験が確実にあります。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:(TOEFL 86点) 点 → 帰国後:() 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	財布とパスポートが入ったバッグを夜行バスに置いてきたこと。数日後にスロバキア大使館から落とし物で届いていると電話がかかってきて、何も盗まれていない状態で手元に戻ってきたのでラッキーだった。また、バルセロナでiphoneを盗まれた。幸いPCを持っていたので親に連絡などはできたが、そのまま戻ってこなかった。携行物紛失手当付きの海外保険加入を強くお勧めする。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	提出書類を出し忘れた際などに確認メールを送ってくれるので書類の不備をすることがなく助かった。また、留学中も報告書などにコメントを返してくれたので安心感があった。ただ、コロナで頼れる先輩がいなかったこともあり留学前までのサポートには不安があり特に ①留学までのスケジュール ②奨学金 この2つの項目で情報の不透明さや共有不足があった。英語資格試験のスコア提出期限や面接日、派遣校の決定などにおいて明確な時期の共有がなく直前に知らされていたので、大まかなカレンダーと選考基準をプログラム開始時点で共有してほしいと感じた。また、神戸大学基金やJASSOの選考方法や定員が曖昧であったと感じた。
7-6	本留学プログラムを先輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	国を問わずに留学をしてみたいという人には強く薦める。交換留学という点で海外の大学で専門科目を学べる事、単位を取得できること、全学協定より応募資格の要件が厳しくないという魅力がある一方、提携先大学がマイナーで英語圏が少ないというデメリットがある。選考基準は曖昧でありその年の志望校の集中度によって通過の難易度が変動するため、特定の行きたい国や大学がある人は他の手段で留学をするのが確実である。ただ、プログラム開始時から授業に参加しある程度の英語資格を持っている希望群のどこかには派遣してもらえるので、海外に挑戦してみたい人にはとても良いチャンスである。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に教えてください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	4
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	4
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	5
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	4
	・全体として留学に係る費用は安かったかと思ひ、満足しましたか	2
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	2
・留学全体の総合的な評価	5	

8. その他感想、先輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)		
<p>私はウィーンについて、クラシック音楽が有名で美しい町というイメージしか持たず予備情報ほぼ無しで行きましたが、9か月の交換留学先としてウィーンで暮らせたことにとっても満足しています。街、大学ともにとっても良い環境で、もう一度過去に戻って留学先を選び直せるとしてもウィーンを選ぶだろうというくらい私には合っていました。</p> <p>まず街並みについてですが、公共交通機関がとても充実しており、60ユーロほどでバスも地下鉄もすべて乗り放題のチケットが買えるので移動手段には困らないです。また、東欧と西欧の境目ということもあり非常にグローバルな都市で、移民や観光客が多く現地の人も外国人には慣れているので基本英語が通じます。また、オーストリア人の国民性としてとても合理的で他人には馴れ馴れしくないという部分があるので、ラテン系の国が大阪だとしたらウィーンは東京みたいな感じでした。なので日本人の私にはちょうどよかったのかなとも思います。</p> <p>大学については、経営経済大学ということもあり、経営学の開講している授業の数がとても多く内容も面白いものが多かったです。基本的にグループワークがどの授業にもあるので、チームに貢献するために積極的にならざるを得ない環境というのが、自分にとっては英語や能力を伸ばすのに良かったと感じます。</p> <p>悪いところを強いてあげるとすれば、物価は他の東欧諸国やドイツの田舎、ラテン系諸国に比べると少し高いです。特に家賃が高めだと思います。ただ、ロンドンやパリ、オランダに比べると都市部にしては安い方だと思います。</p> <p>「学生のうちに世界を見てみたい」というざっくりとした理由で決めた留学ですが、振り返ってみれば本当に挑戦してよかったと思います。最初の数週間はあまりの英語のできなさに帰りたいと引きこもったり、英語に自信が出てきた半年くらいの時にすら授業で撃沈して涙を流すこともありましたが、その経験は人生であの瞬間しか味わわないものであったと考えると、本当にいい経験をさせてもらえたと感じます。</p> <p>行く前色々な不安がありましたが、いざ行ってしまえばなんとかならないことなんて無かったです。自分でも信じられないくらいたくましくなると感じます。ぜひ挑戦をして広い世界を見てください。楽しいです。</p>		
<p>あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共にGEMsにアップロードしてください！</p>		
もしあなたと同じ大学(国)に留学する神戸大学の学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか？		はい
同意する場合、連絡可能なメールアドレス:		

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数/週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスメ含めて教えてください
1	5086 E&I Zone 5: Digital Business	Paul Leonardi	6h×4	6	英語	11	元コンサルタント経験を持つアメリカの大学の教授の出張授業。企業のデータ活用のケーススタディ。予習が1時間越えの講義ビデオと2つほど読み物が出るので重かった。また、ディスカッションをメインに授業が進むため自分の無力を突きつけられた。
2	5243 SaC - Course 4: Sustainable Development Across Societies	Christof Miska	4h×6	6	英語	24	国や文化の違いによるSDGs達成の差異をリサーチする。選択問題試験、プレゼン、論文あり
3	4931 Social Policy	August Österle	4h×3, 3h×5	6	英語	32	異なる社会で同じpolicyを導入する際の理論を学ぶ。プレゼン、記述試験、論文あり
4	5487 Sustainable Internationalization Strategies - A Project with Siemens Mobility	Laurenz Elias Tinhof, MSc., Univ.Prof. Dr. Jonas Puck	4h×5	6	英語	25	オーストリアの最大鉄道会社のSiemensとの協同授業。役員に対し東欧市場の参入のためのコンサルのようなことを行う。プレゼン、選択問題試験あり

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

大学の授業はレクチャーパートで教授から理論やケースを教わった後に、学生たちでチームを組みグループプロジェクトとしてその理論をもとに実践を行う、という形が基本。ほとんどすべての授業でグループプレゼンがあり、グループで最終論文を提出しなければならない授業も何個かあった。

シラバスでは魅力的な授業がたくさんあるが、クラスが少人数制で履修登録が先着順なので、基本取りたい授業は1個か2個しか取れないと思った方がよい。マーケティングなどの人気分野は、冗談抜きでライブのチケット戦争の速度で埋まる。